



吹田市

WEB 掲載用

2021 年度  
自治会活動におけるコロナ禍の影響と  
ICT(情報通信技術)の活用実態調査

報告書

2022 年 3 月

吹田市立市民公益活動センター

(指定管理者 NPO 法人市民ネットすいた)



## < 目 次 >

|                   |       |    |
|-------------------|-------|----|
| I. はじめに           | ----- | 1  |
| II. アンケート設問集計結果   | ----- | 3  |
| III. 自由意見のまとめ     | ----- | 23 |
| V. アンケート調査からみたニーズ | ----- | 27 |

### ■参考資料

・自治会活動におけるコロナ禍の影響と ICT(情報通信技術)の活用実態調査 回答用紙



## I. はじめに

### <調査の主旨>

自治会とは、一定の区域内に住む人々が、より良い環境・充実した生活が営まれるようお互いに協力し合い、運営している任意の自治組織です。

しかしコロナ禍により、会議や催しの中止が相次ぐ等、自治会活動は大きな影響を受けており、このままでは地域でのつながりや共助が失われることになりかねません。

一方で、経済・社会活動を維持していくため、テレワーク等の新しい働き方が推進される等、ICT(情報通信技術:information and communication technology)活用の気運が、社会全体で高まっています。

こうした地域を取り巻く状況を背景に、本調査は、コロナ禍による自治会活動への影響を総体的に把握するために実施しました。

また、コロナ禍における自治会支援のひとつとして、ICTの活用が挙げられることから、自治会における ICT の活用実態についても調査しました。

今後、本調査で得られた結果や知見を踏まえ、自治会活動を継続し、地域でのつながりを絶やさないための支援方策を検討していきます。

## <調査の実施概要>

### 1. 調査対象

吹田市内の単一自治会

### 2. 調査方法

発送：メール便

回収：郵送受取人払、ラコルタ窓口、WEB回答専用サイト

### 3. 調査時期

2021 年 8 月下旬～2021 年 9 月中旬

### 4. 配布数

557 通

### 5. 回収数

358 通(※内 1 通無効)

### 6. 有効回収数

357 通

### 7. 回収率

有効回収数(357 通)に対する回収率:64.1%

### 8. 集計について

- ・選択式設問は単数回答と複数回答があります。
- ・選択式設問の単純集計結果は回答者数(母数)に対し各選択肢の選ばれた割合(%)で表示しています。  
※計算式:各選択肢の選ばれた個数/回答者数(母数)×100%
- ・単数回答の合計は 100%となり、複数回答の合計は 100%ではありません。
- ・「判別不能のもの」、「指定の個数以上を選択しているもの」(1つだけ○の設問に2つ以上の○、3つまで○の設問に4つ以上○等)は、無効としました。

## Ⅱ. アンケート設問集計結果

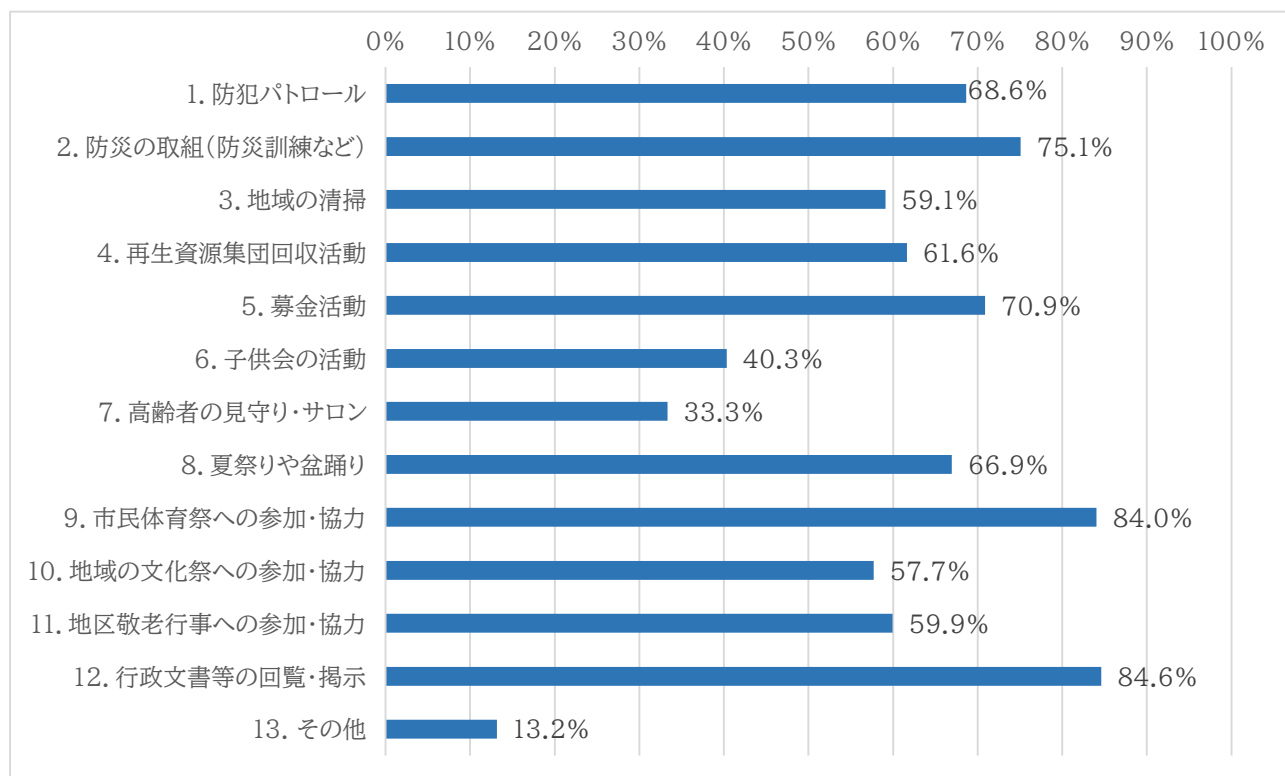
## 自治会の概要

### ●貴自治会で、通常(例年)実施されている主な活動について 当てはまる番号を全て選び○で囲んでください。

<複数回答:当てはまるもの全て>

- ・「12. 行政文書等の回覧・掲示」と回答した自治会が 84.6%と最も割合が高く、次いで「9. 市民体育祭への参加・協力」が 84.0%となっており、この 2 つの項目が 8 割を超えています。
- ・「7. 高齢者の見守り・サロン」が 33.3%、「6. 子供会の活動」が 40.3%と、この 2 つの活動に取り組んでいると回答した自治会は半数以下となっています。

母数:357





### ◇選択肢「13.その他」の内容

- ・行政文書等の配布
- ・市との窓口
- ・例会、親睦会
- ・連合会、福祉、防犯、体振、青対等の行事に協力
- ・懇親会の開催、自治会だよりの発行
- ・子供カーニバルのお手伝い
- ・居住建物管理・補修予算化・積立・改修
- ・自転車整理等
- ・小学校学期初めの終り、挨拶慣行
- ・どんとまつり
- ・独居老人の昼食会、そばうち同好会
- ・レクリエーション
- ・公園の美化協力
- ・青色防犯
- ・冬まつり、ヤブ蚊の防除活動
- ・親睦行事等
- ・毎月、組長&役員宛に「自治会通信」を発行
- ・いきいき 100 歳体操、ふれあい喫茶、カラオケ道場、夏休みラジオ体操、年末火の用心パトロール、健康講座、毎月自治会新聞を発行
- ・七夕の集い カラオケ同好会の活動 地区の夏祭り等の参加
- ・ひろば de 体操、いきいき 100 才体操
- ・青少年育成活動
- ・外灯等の不具合チェックと市への補修依頼
- ・グランドゴルフ大会
- ・通学路の定点見守り
- ・餅つき大会
- ・健康増進活動でグラウンドゴルフ・百歳体操
- ・クリスマスダンスパーティ
- ・バスツアー等の文化行事
- ・一斉清掃
- ・年末夜警
- ・アドプトリバー、安威川河川内敷道美化活動
- ・子供見守り
- ・落語会等の文化的事業、バス旅行等のレクリエーション、地域企業との交流
- ・自治体からの要請による調査の回答や報告書の作成
- ・周辺道路等のパトロール実施

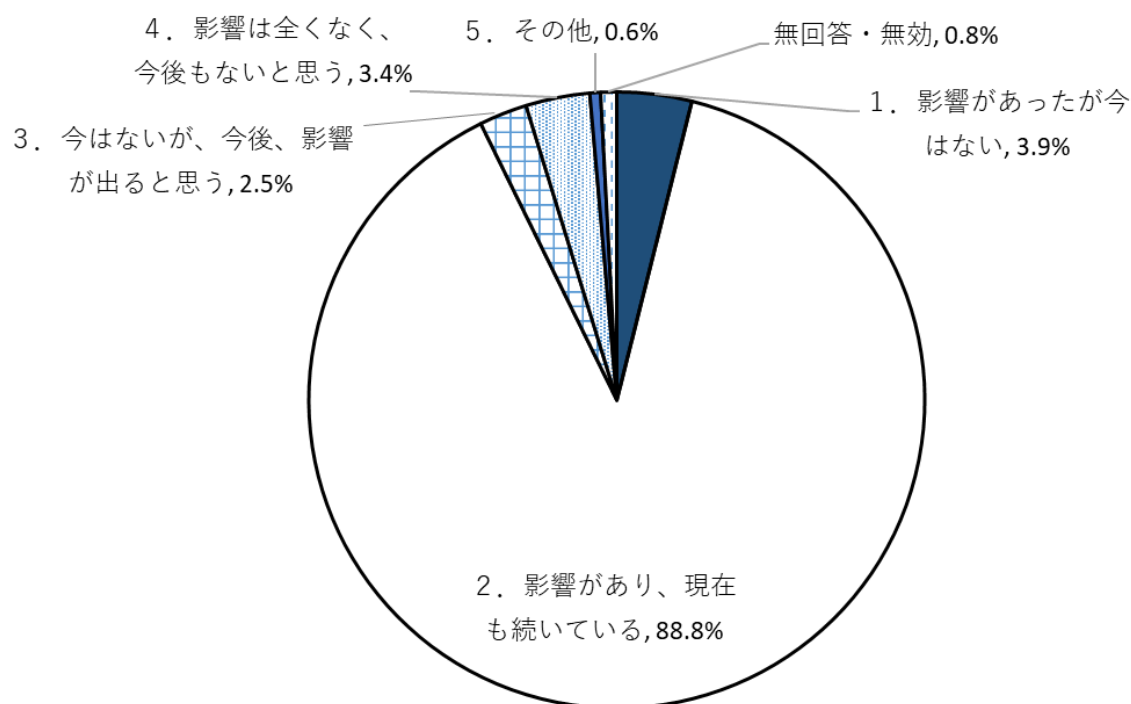
## 自治会活動におけるコロナ禍の影響について

### <活動や運営の影響>

#### 問1-1. 新型コロナウイルスの感染拡大による貴自治会の活動や運営への影響について 最もあてはまる番号を1つ選び○で囲んでください。

- ・「2. 影響があり、現在も続いている」と回答した自治会が88.8%と最も割合が高く、9割近くを占めています。自治会活動に対してコロナ禍の影響が極めて大きいことがうかがえます。
- ・「4. 影響は全くなく、今後もないと思う」とする自治会は3.4%で、低い割合となっています。

母数:357



#### 選択肢「5.その他」の内容

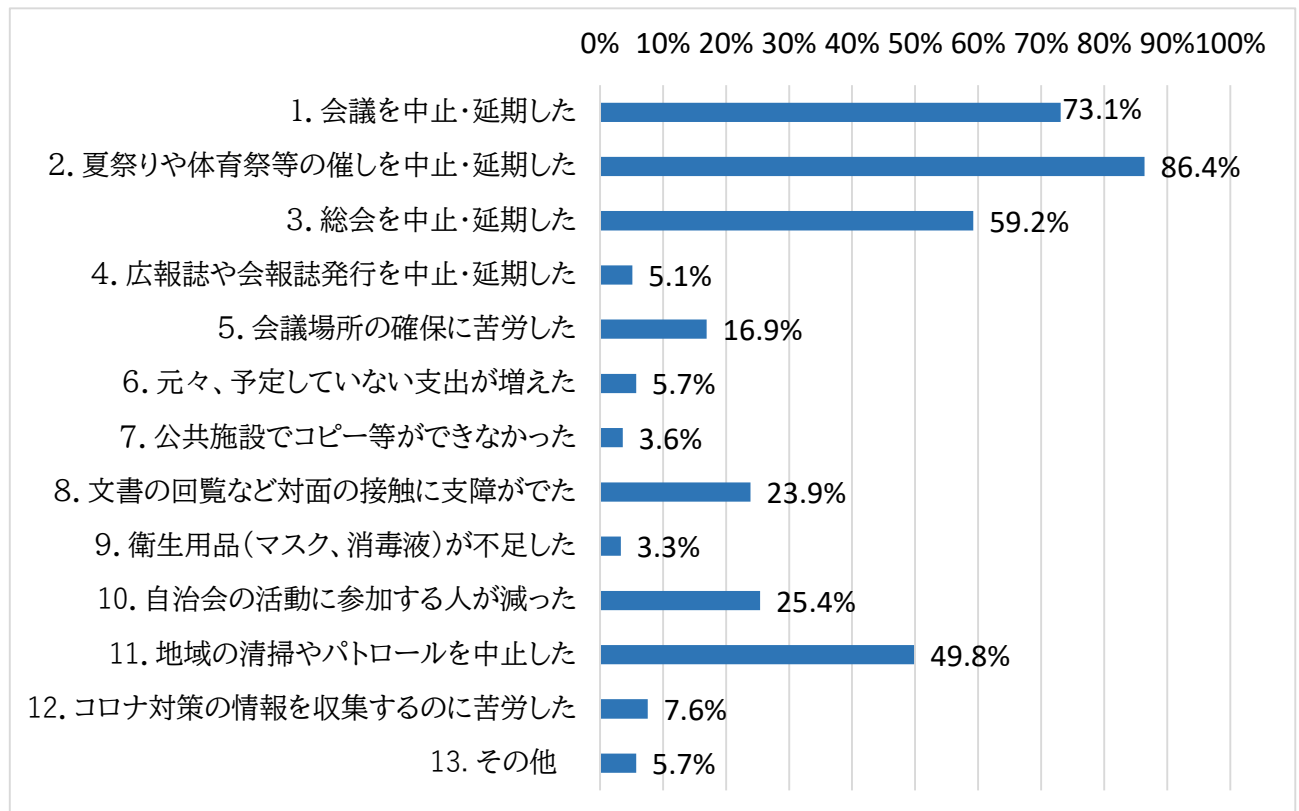
- ・あるものとなないものがある。
- ・年度末で班長等の引継ぎの集会が出来ない。

**問1-2. 問1-1の選択肢で「1. 影響があったが今はない」又は「2. 影響があり、現在も続いている」に○を付けた方にお尋ねします。活動や運営に影響が出たと思われる事柄について当てはまる番号を全て選び○で囲んでください。**

**<複数回答:当てはまるもの全て>**

- ・「2. 夏祭りや体育祭等の催しを中止・延期した」と回答した自治会が 86.4%と最も割合が高く、9割弱を占めています。自治会の関わる催しのほとんどが実施されていない状況がうかがえます。
- ・次いで「1. 会議を中止・延期した」73.1%、「3. 総会を中止・延期した」59.2%の割合が高くなっています。
- ・回答割合の高い項目をみると、住民同士が対面して行う活動が難しかった状況がうかがえます。

母数:331



### ◇選択肢「13.その他」の内容

- ・防災訓練を中止した。
- ・連合自治会定例会が中止になったり、密を避けるためグループを分けたりしている。
- ・交流活動が中止になっている。
- ・定期総会の開催を中止し書類審査とした。巡回的な活動を延期した。
- ・会議等でソーシャルディスタンスの保持
- ・総会は書面議決とした。
- ・地域の清掃やパトロールを縮小した。
- ・自治会活動が出来なくなった。
- ・総会が出来ないので書面議決にしたが時間がかかった。
- ・募金活動に苦慮した。
- ・対面会議の中止で理事長の文書作成によるお知らせが増えた。
- ・全ての自治会の活動を中止しています。
- ・総会は書面で行った。
- ・体操を中止した。
- ・回覧板での回覧中止
- ・総会人数の制限 役員交代の遅延 各戸への集金業務
- ・会議広報活動等すべて中止する。
- ・活動が減ることは参加者が減ることと考えます。

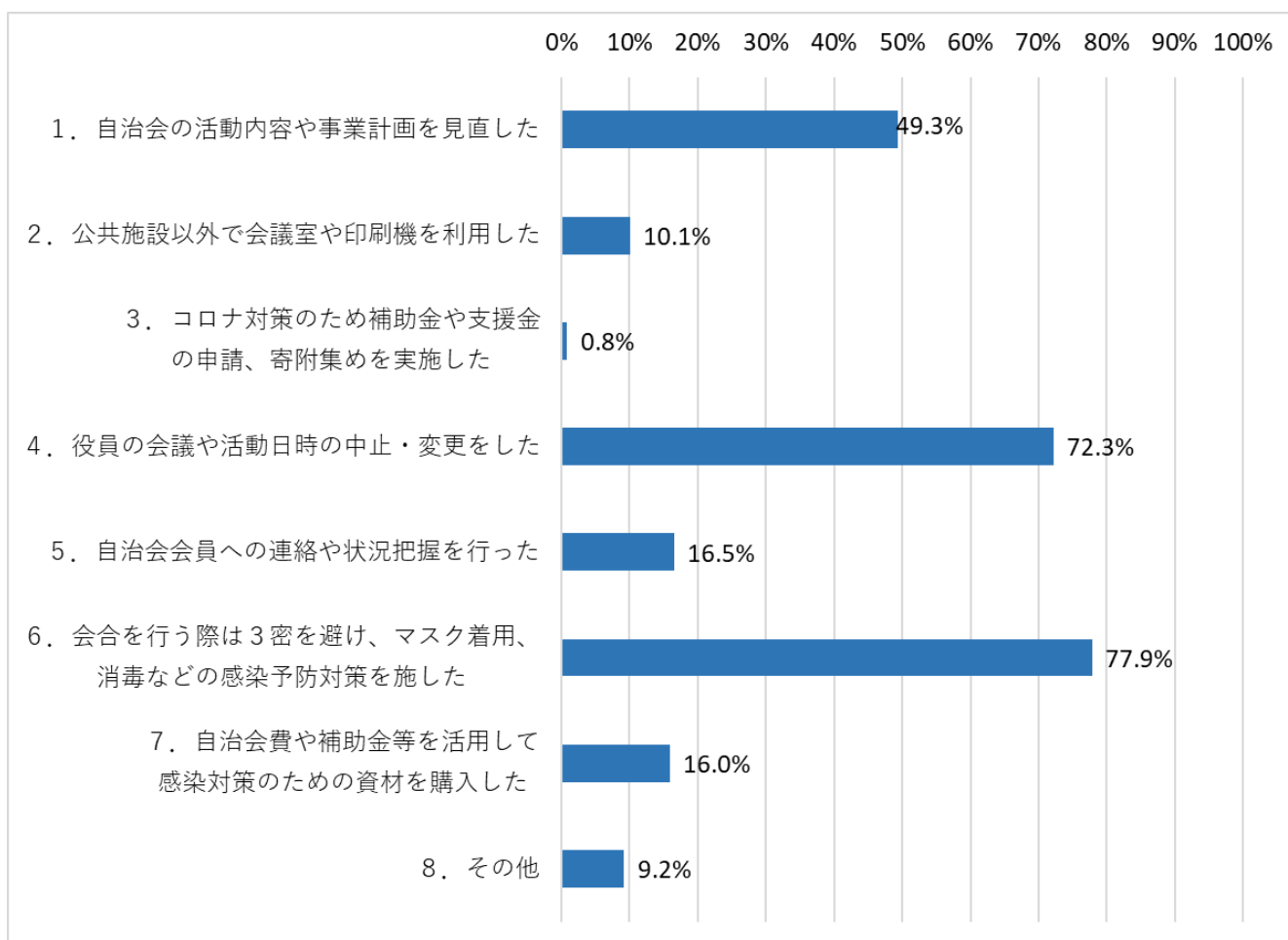
## <コロナ禍での対応について>

### 問2. 新型コロナウイルスの感染拡大で取られた対応がありましたら、当てはまる番号を全て選び、○で囲んで下さい。

#### <複数回答:当てはまるもの全て>

- ・「6. 会合を行う際は3密を避け、マスク着用、消毒等の感染予防対策を施した」と回答した自治会が77.9%と最も割合が高く、8割弱を占めています。活動にあたり基本的な感染予防対策が実施されている状況がうかがえます。
- ・次いで「4. 役員の会議や活動日時の中止・変更をした」が72.3%と割合が高くなっています。

母数:357



#### ◇選択肢「8.その他」の内容

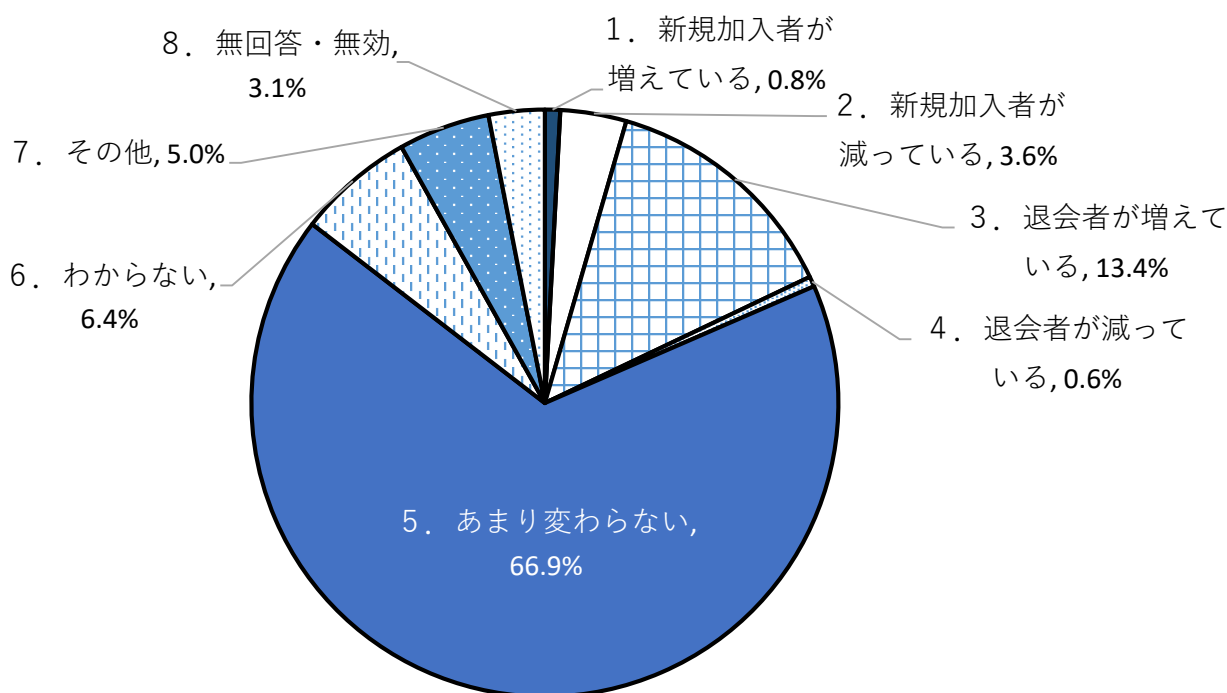
- ・全体での清掃
- ・総会は委任状形式で実施
- ・役員会議はラインで意見交換
- ・対面での会議を中止し、メール・書面で行った。
- ・マスクの無料配布 2020 年、回覧中止→掲示板
- ・連合自治会 定例会議は参加した。
- ・自治会親睦旅行の変更検討中

## <コロナ禍での自治会の加入等への影響について>

**問3-1. 新型コロナウイルスの広がった1年半の間で、新規の自治会加入者や退会者の状況についてどのように感じておられますか？**  
**最もあてはまる番号を1つ選び○で囲んでください。**

- ・「5. あまり変わらない」と回答した自治会が 66.9%と最も割合が高く、7 割弱を占めています。
- ・次いで「3. 退会者が増えている」が 13.4%と割合が高くなっています。「2. 新規加入者が減っている」3.6%と併せると 17.0%となり、2 割近くの自治会が、コロナ禍の影響により会員数の維持・拡大に苦慮した状況がうかがえます。

母数:357



### ◇選択肢「7.その他」の内容

- ・年々会員は減少しつつありましたし、新入居者は入会したりしなかったりでした。
- ・脱退したいと言う方が増えた。
- ・地区全戸自治会加入の為、変わらない。
- ・区分所有者が全員加入者なのでコロナの影響での増減はありません。
- ・今後の活動に協力してもらえなくなり、衰退していくと思う。
- ・退去した者以外は全員自治会員である。
- ・入居者原則加入の為、今のところ拒否されている方は少ない。
- ・現状維持
- ・居住者全員が自動的に自治会員になる。
- ・管理組合である。加入者の増減はない。
- ・入居時に自治会員となります。
- ・住居する全世帯は会費を納め会員。変わらない。

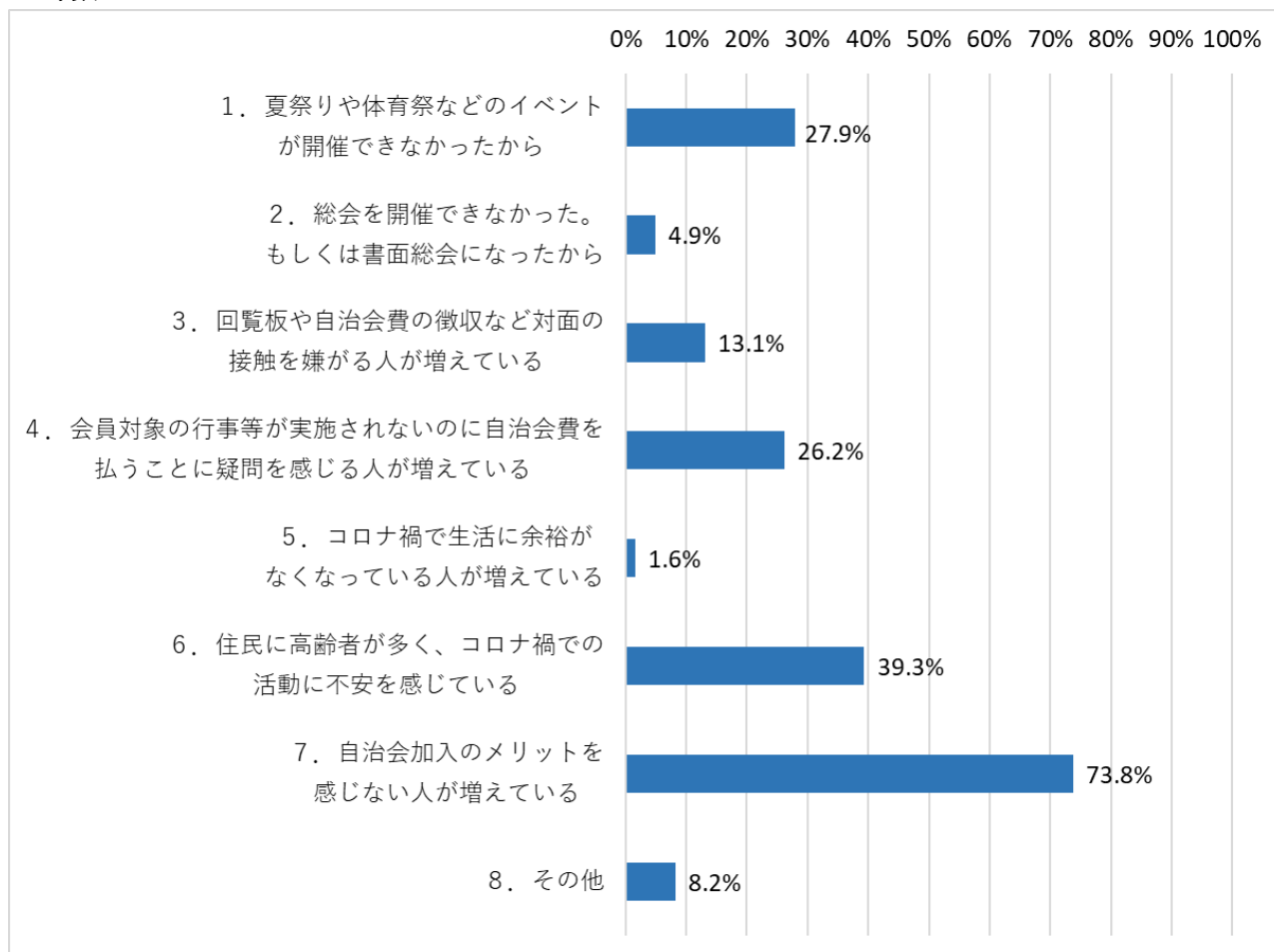
**問3-2. 問3-1で「2.新規加入者が減っている」に○を付けた方と「3.退会者が増えている」に○を付けた方にお尋ねします。コロナ禍での原因をどう感じていますか？**

**最もあてはまる番号を3つまで選び○で囲んでください。**

**<複数回答:3つまで>**

- ・「7. 自治会加入のメリットを感じない人が増えている」と回答した自治会が 73.8%と最も割合が高く、7 割を超えています。
- ・次いで「6. 住民に高齢者が多く、コロナ禍での活動に不安を感じている」が 39.3%と割合が高くなっています。

母数:61



**◇選択肢「8.その他」の内容**

- ・高齢を理由とした退会
- ・高齢者が施設へ入所したから。
- ・高齢者の夫婦で相方がなくなり、しばらくして退会させてほしいという申し出がある。
- ・単純に高齢化
- ・従来の自治会活動に意義が薄れていることに気づく会員が増えている。

## <市への要望>

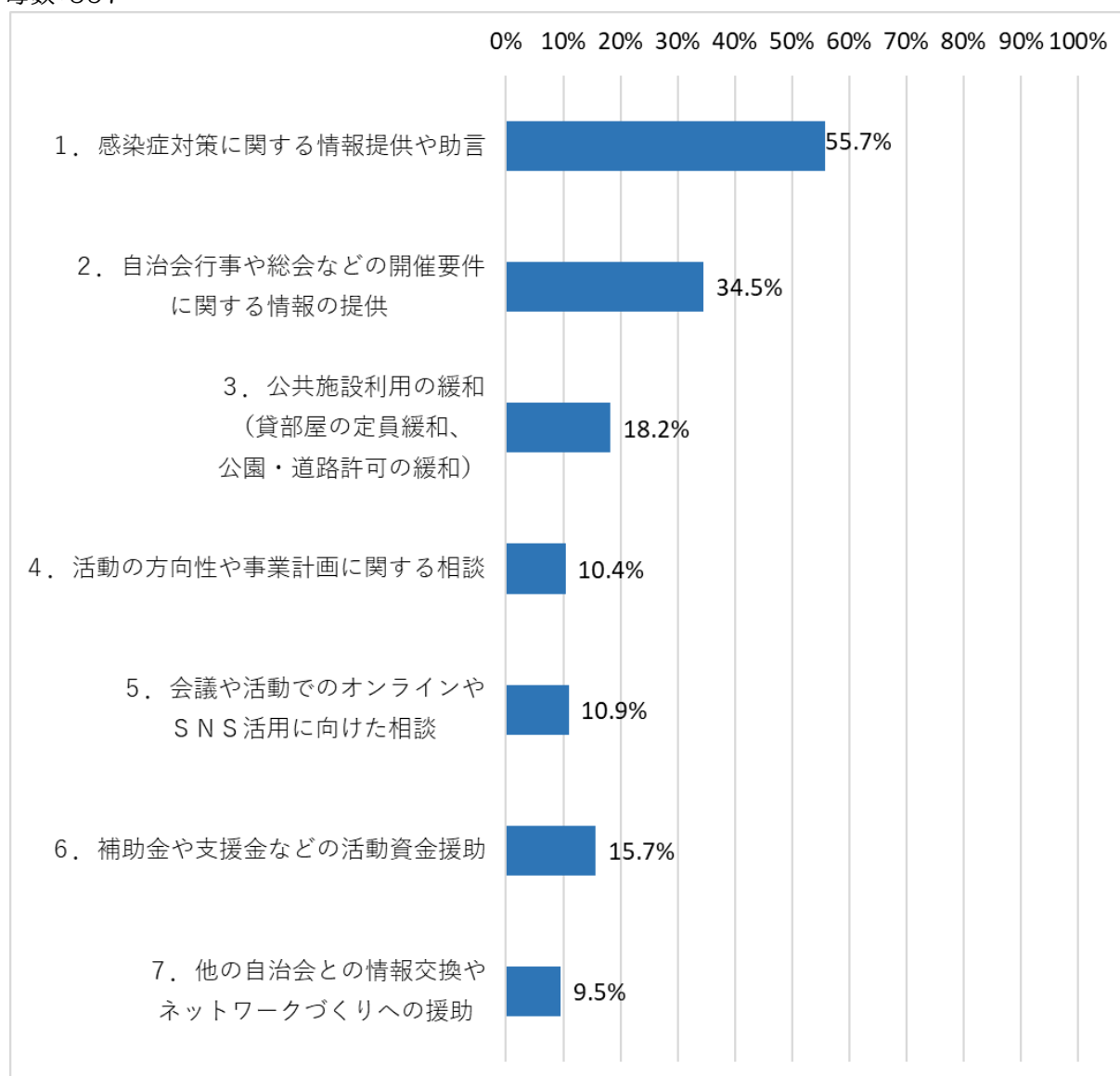
### 問 4. 新型コロナウイルスの感染拡大に関連し、行政やラコルタに対して、どのような要望をお持ちですか？

最もあてはまる番号を3つまで選び○で囲んでください。

#### <複数回答:3つまで>

- ・「1. 感染症対策に関する情報提供や助言」と回答した自治会が55.7%と最も割合が高く、唯一5割を超える項目となっています。
- ・次いで「2. 自治会行事や総会等の開催要件に関する情報の提供」が34.5%と割合が高くなっており、コロナ禍での催しや会議等の開催に関して悩んでいる状況がうかがえます。

母数:357





#### ◇具体の要望として記載されていた内容

- ・高齢者が多く、SNS 対応が難しいところがあります。他の高齢者が多い自治会での情報収集方法の情報がいただければ。
- ・すでに 吹田市 大阪府 厚生労働省 首相官邸 のホームページに情報や対策が発表されているので、今後も続けてもらえれば良いと思います。
- ・自治会加入のメリット・デメリットのパンフがあれば利用(提示)したいと思います。
- ・活動の自粛、書面、オンラインでの会議の実施
- ・市営住宅の集会所開放
- ・ラコルタが閉まると、コピー機の使用ができませんので開けて頂けると大変助かります。
- ・理事会開催や定期総会の開催は行政の指針が有った方が良い。
- ・コロナ感染に対し敏感な者と鈍感な者がおり、対面会議の開催判断が難しい。
- ・不定期不急の回覧文書をやめてほしい。
- ・自治会所有の集会所の存続維持のやり方の指導をお願いしたい。
- ・ウェブ会議システムやウェブ回覧板等自治会活動に関する IT 基盤提供
- ・高齢宅が多い為、連合参加が体力的にも大変で、マンション内での活動のみの方が多く、イベント等の内容も検討して頂きたい。
- ・災害に関する情報を重点的に即時提供していただけるシステムを構築してもらいたいです。
- ・住民の安心安全を基軸に医療体制の充実と万が一に備えた災害(コロナ以外)への対策と避難への的確な情報の提供と指示。
- ・活動は停滞しているので、繰越金等で活動は出来ている。

## 自治会活動における ICT(情報通信技術)活用実態について

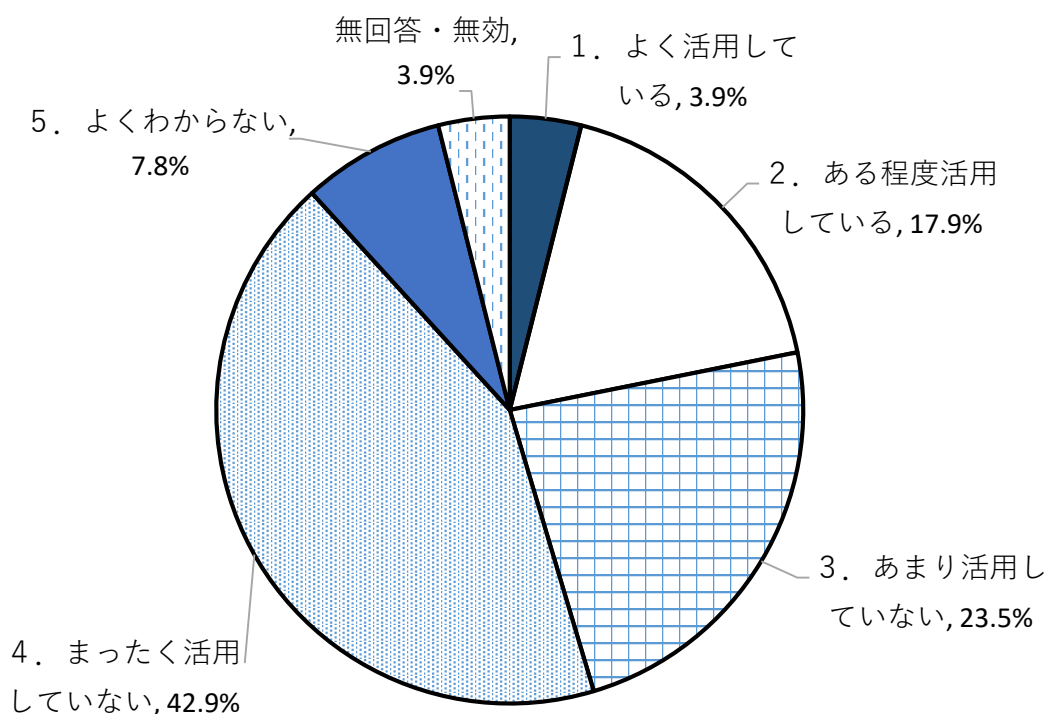
### <ICT(情報通信技術)の活用状況>

問5. 貴自治会の活動において、ICT はどのくらい活用されていますか？

最もあてはまる番号を1つ選び○で囲んでください。

- ・「4. まったく活用していない」と回答した自治会が 42.9%と最も割合が高く、4 割を超える自治会が ICT を活用していません。
- ・一方で「1. よく活用している」3.9%、「2. ある程度活用している」17.9%を合わせると 21.8%となり、約 2 割の自治会が ICT を活用していると回答しています。

母数:357



## <ICT(情報通信技術)を活用されている自治会の状況>

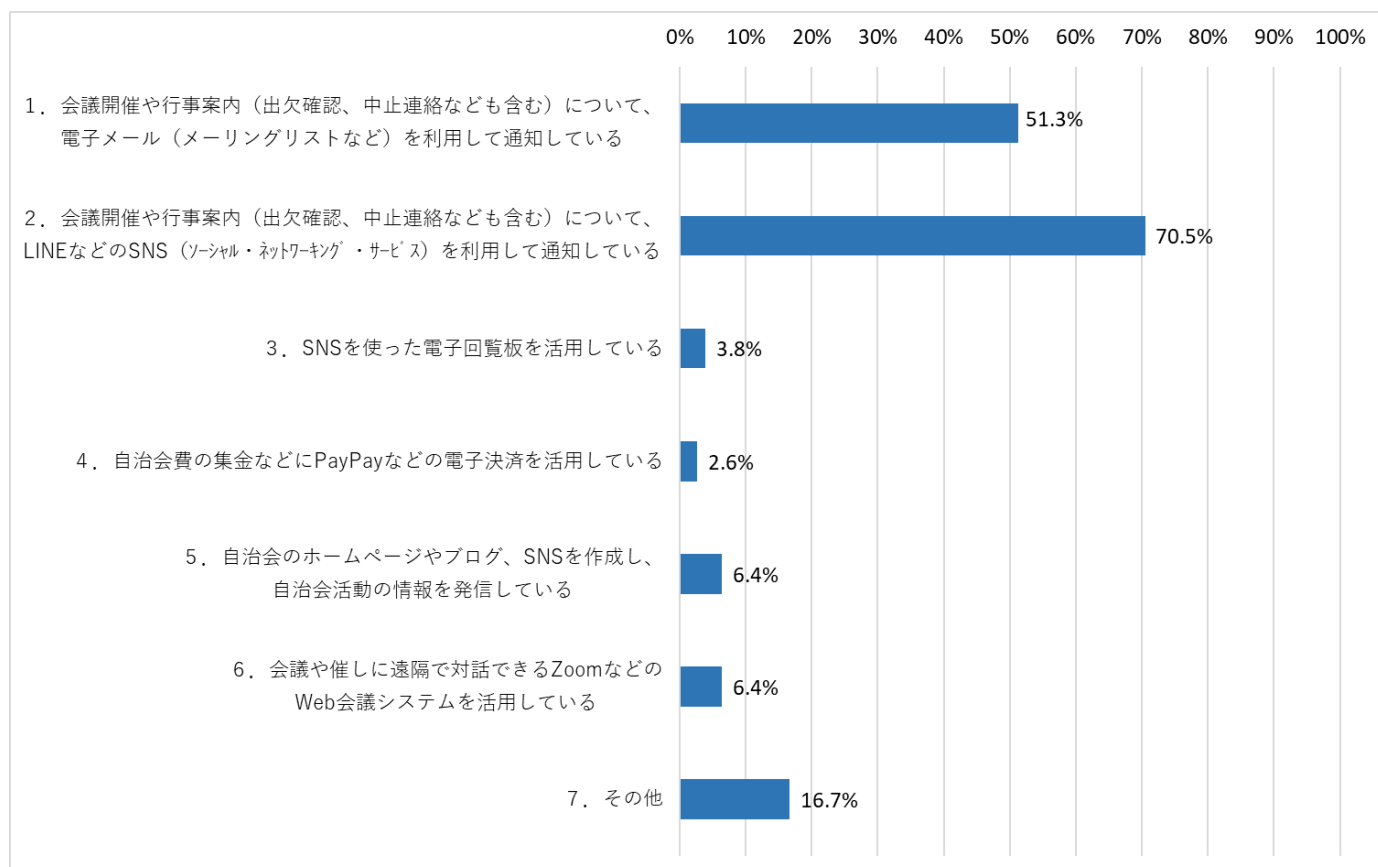
問5の選択肢で「1. よく活用している」又は「2. ある程度活用している」と回答した方への設問

### 問6-1. ICT を利用している事柄について当てはまる番号を全て選び○で囲んでください。

<複数回答:当てはまるもの全て>

- ・ICT を活用していると回答した自治会の内、「2. 会議開催や行事案内について、LINE 等の SNS を利用して通知している」と回答した自治会が 70.5%と最も割合が高くなっています。
- ・次いで「1. 会議開催や行事案内について、電子メールを利用して通知している」が 51.3%と 5 割を超えています。
- ・「6. 会議や催しに遠隔で対話できる Zoom 等の Web 会議システムを活用している」は 6.4%とコロナ禍で普及が進むオンライン会議の活用は低い割合に留まっています。

母数:78



#### ◇選択肢「7.その他」の内容

- ・自治会役員の諸連絡は携帯メールを使用している。
- ・役員間での意思疎通
- ・グループライン、Facebook
- ・月1回発行の自治会ニュース作りに活用している。
- ・会議室予約の共有
- ・役員間でデータをクラウドで管理
- ・班長への変更や報告等
- ・役員間の打ち合わせにLINEを採用している。
- ・議事録等もLINEで確認している。

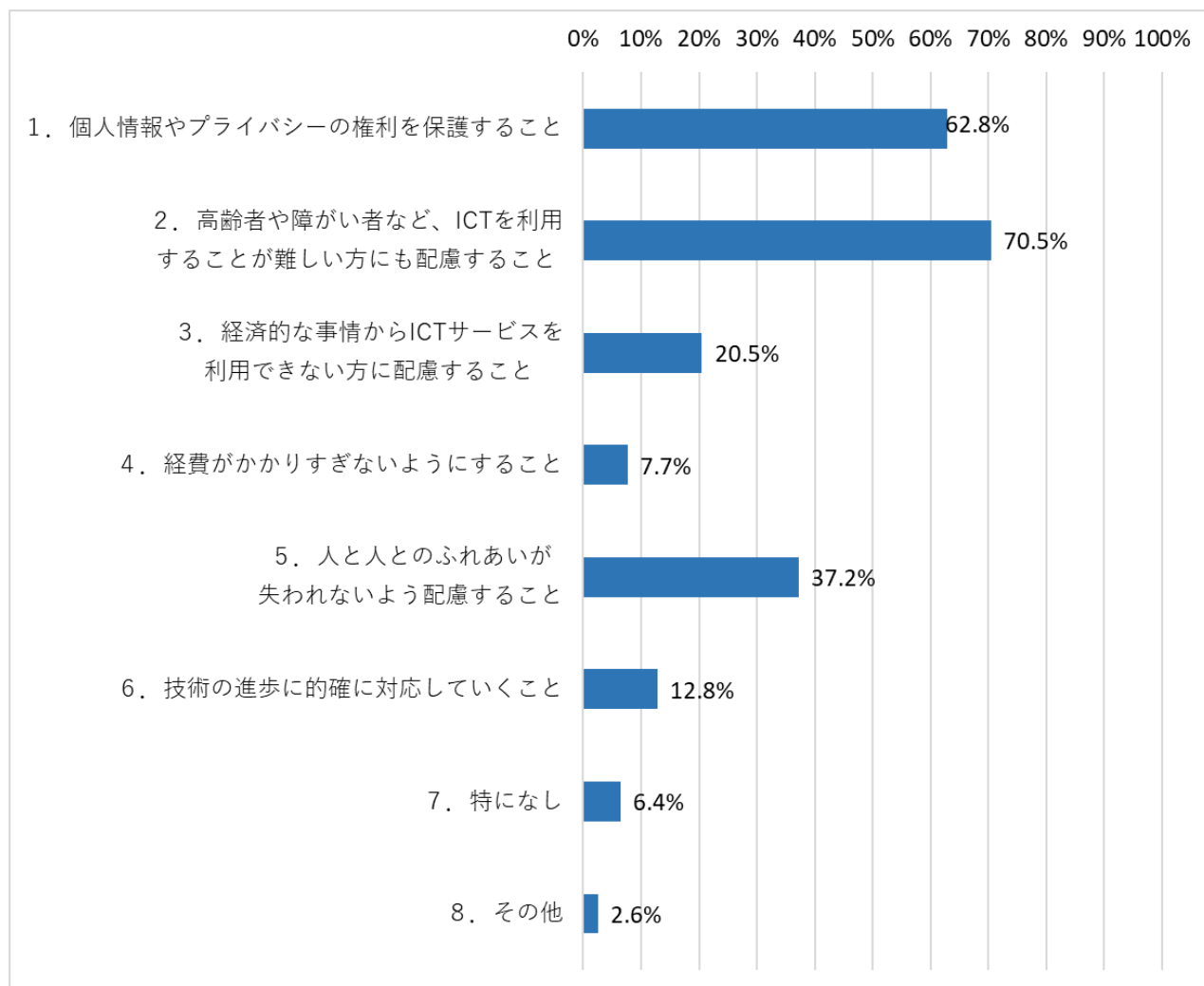
**問6-2. 今後、ICT を積極的に活用していく場合に、どのようなことが大切になると思いますか？**

**最もあてはまる番号を3つまで選び○で囲んでください。**

＜複数回答:3つまで＞

- ・「2. 高齢者や障がい者等、ICT を利用することが難しい方にも配慮すること」と回答した方が70.5%と最も割合が高く、7割を超えています。
- ・次いで「1. 個人情報やプライバシーの権利を保護すること」が62.8%と割合が高くなっています。
- ・一方で、4割近くの自治会が「5. 人と人とのふれあいが失われないよう配慮すること」と回答しています。

母数:78



**◇選択肢「8.その他」の内容**

- ・ICTに関心を持たない人にどのような対応をしてゆけば良いか対策を考えておく必要がある。
- ・役員や一部の人だけではなく、自治会会員全体に伝わるようにすることが大切である。
- ・一年間の自治会役員後のプライバシー

## <ICT(情報通信技術)の活用をされていない」自治会の状況>

問6の選択肢で「3. あまり活用していない」又は「4. まったく活用していない」「5. よくわからない」と回答した方への設問

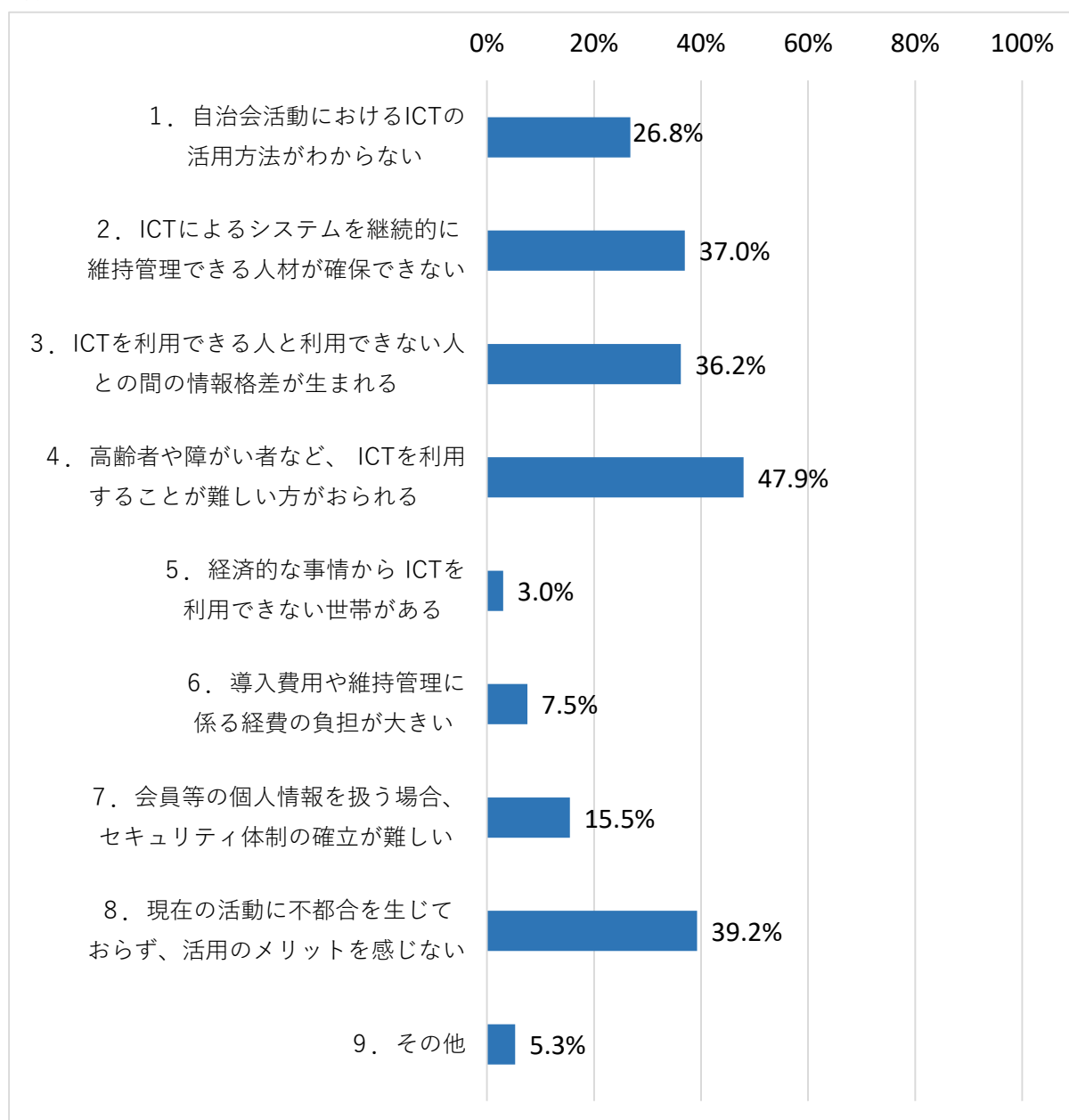
**問7-1. 自治会活動において、ICT を活用していない理由はどのようなものですか？**

**最もあてはまる番号を3つまで選び○で囲んでください。**

<複数回答:3つまで>

- ・ICT を活用していない理由については、「4. 高齢者や障がい者等、ICT を利用することが難しい方がおられる」と回答した自治会が 47.9%と最も割合が高く、5 割近くを占めています。
- ・次いで「8. 現在の活動に不都合を生じておらず、活用のメリットを感じない」が 39.2%と割合が高くなっています。

母数:265



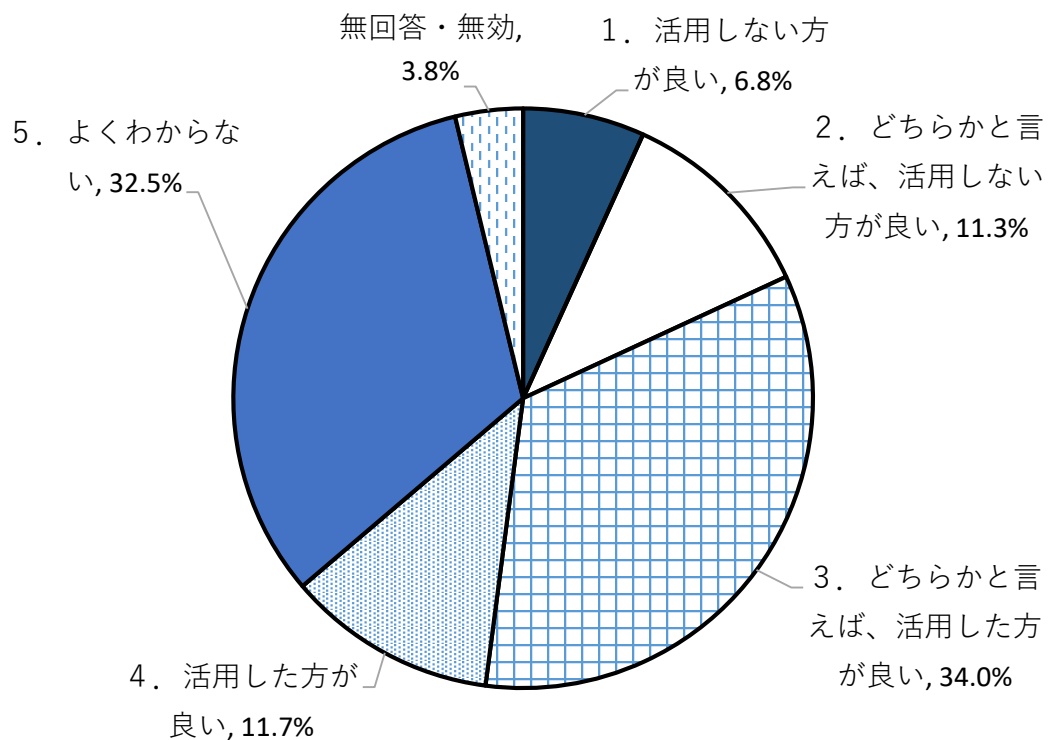
#### ◇選択肢「9.その他」の内容

- ・その必要を感じない。
- ・現状ではメールアドレス情報も無く回覧等にたよっている。
- ・自治会として地域とのかかわりが全く無く、自治会行事の活動にも参加していない。
- ・自治会自体が活動していないので。
- ・自治会員の大半が高齢者であり、連絡でさえ固定電話により行っている状況なので、LINE や ZOOM 会議等は導入できずにいる。
- ・PC、スマホ、ガラケーをあえて持たない人がそこそこ居る。
- ・従来の掲示板で良い。
- ・当自治会は発足してから間もなく会則もなく、マンション全体としての積極的な活動はコロナの状況を把握しておらず、地域の連合自治会への参加のみとなっているため。
- ・ICT は使い慣れている人には便利だが使う機会が少ない人には不便ことが多い。
- ・会議・活動があまり活発でないため。
- ・回覧板や組長が連絡係になっているのと、高齢者も多いので活動に不都合はないと役員も考えている。
- ・理解不足

**問7-2. 今後、自治会活動での ICT の活用に関して、あなたのお考えに近い最もあてはまる番号を1つ選び○で囲んでください。**

- ・ICT を活用していない自治会の中でも「3. どちらかと言えば、活用した方が良い」と回答した自治会が 34.0%と最も割合が高く、「4. 活用した方が良い」11.7%を併せると 45.7%と 5 割近くを占めています。
- ・「1. 活用しない方が良い」6.8%と「2. どちらかと言えば、活用しない方が良い」11.3%を合わせると 18.1%となり、今後も活用意向がない自治会が 2 割近くあります。

母数:265



## <ICT(情報通信技術)を活用したい内容>

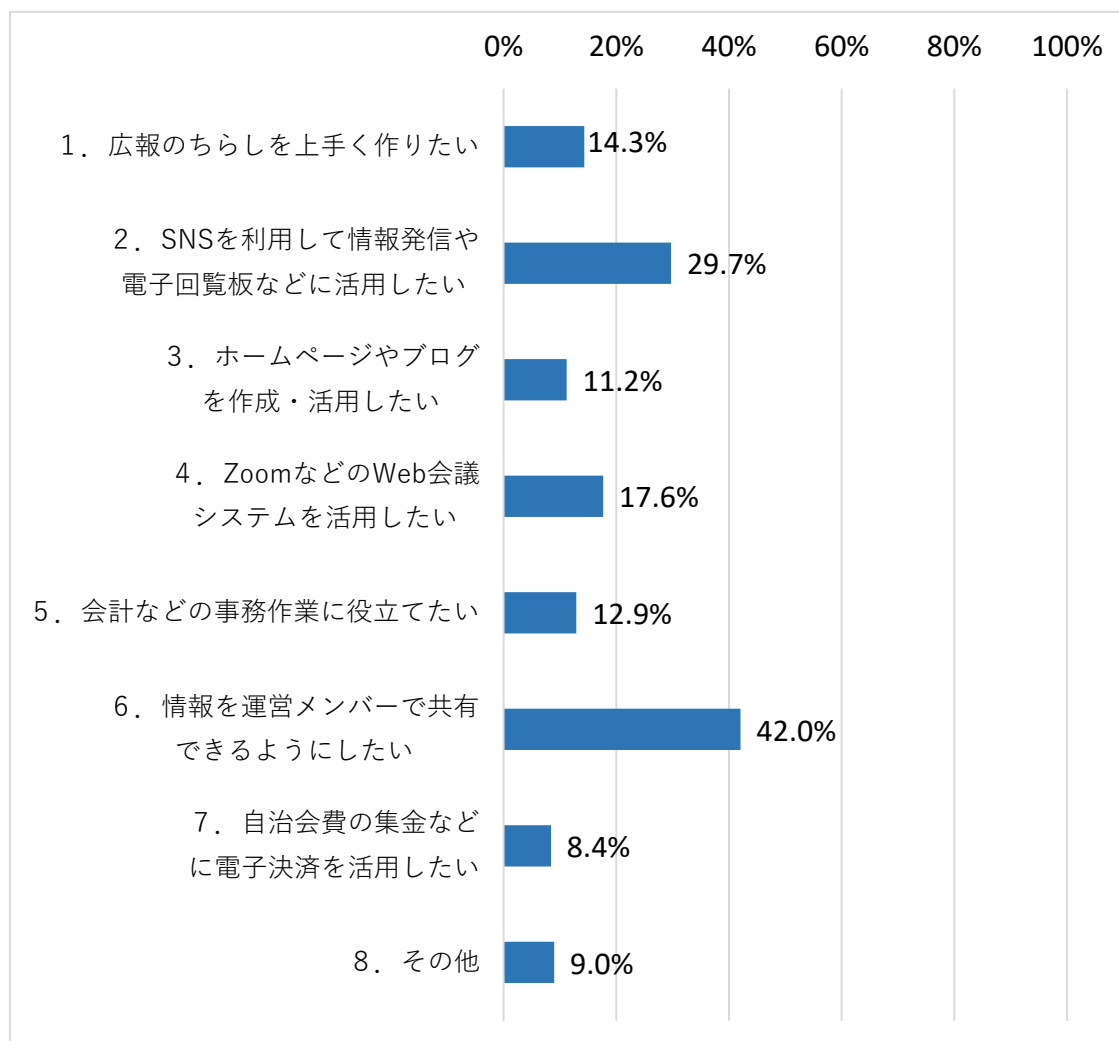
**問 8. パソコンやインターネット等の活用について、今後、活用したいと思うことはありますか？**

**最もあてはまる番号を3つまで選び○で囲んでください。**

<複数回答:3つまで>

- ・「6. 情報を運営メンバーで共有できるようにしたい」と回答した自治会が42.0%と最も割合が高くなっています。
- ・次いで「2. SNSを利用して情報発信や電子回覧板等に活用したい」が29.7%と割合が高くなっています。

母数:357





#### ◇選択肢「8.その他」の内容

- ・メールで自治会活動に関する色々な情報を流してほしい。
- ・電子投票システムの導入
- ・当自治会では必要ない。
- ・今のところ考えていない。
- ・特に活動がないので必要を感じない。
- ・当自治会の現況・将来像から多分利用できないと思う。
- ・高齢者が多いので特になし。
- ・パソコンやインターネットは活用中
- ・最少限で良い。
- ・現在のパソコンで作成する回覧板や周知文書で十分である。
- ・連合自治会の会長とはインターネット等活用あるが、自治会は原則 1 年で交代の為
- ・会報の定期的発行
- ・会員へのアンケート等意見聴取
- ・メールでの連絡システムを作りたい。
- ・役員のみに関りテスト使用出来ないか検討したい。
- ・高齢者が多い為、使用出来ない人が多い。
- ・高齢者のスマホ切替応援
- ・自宅で参加できる、若い世代も自治会活動に参加できる様考えます。



### Ⅲ. 自由意見のまとめ

## 1. 自由意見の整理について

ここでは、アンケート票の自由意見欄に記述いただいた意見について主にどんな内容であったか、数が多い項目から、ランキング形式でまとめています。

なお、一人の回答者が、複数の意見を記述されている場合は、それぞれの意見項目に含めて複数カウントしています。

## 2. 自由意見で書かれた主な意見

- ・もっとも多い意見項目は「1. ICT 導入の難しさに関する意見」で、地域の高齢化を背景に ICT 導入に対する消極的な意見が多くみられます。
- ・次いで多いのは「2. ICT導入に向けた前向きな意見」で、ICT 導入に対する積極的な意見がみられます。
- ・また、アンケートの実施に合わせて開催した「7. ラコルタの講座(SNS)に関する意見」もみられ、概ね講座内容が好評であった様子が見えます。

※補足:ラコルタでは「自治会活動に役立つ SNS 入門講座」を 2021 年夏頃に開催し、SNS の基礎知識を学んでいただいたほか、LINE 公式アカウントの使い方や活用事例の紹介をしました。

| 意見項目                | 具体的意見                                                                                                                                                                                                                                  | 意見数 |
|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 1. ICT 導入の難しさに関する意見 | ・高齢者が多く、ICT 活用は大変と思います。<br>・会員の 85%が高齢者なので難しいです。<br>・年配の方が多いので、ICT とか言われてもあまりピンとこない。<br>・高齢でパソコン操作が出来ない。など                                                                                                                             | 28  |
| 2. ICT 導入に向けた前向きな意見 | ・高齢者がいる世帯が多いので ICT を活用すれば、自宅にいな<br>がら意見を言えるのではと思います。<br>・自治会活動の道具に ICT の利用は必要と考えている。<br>・ICT を活用している自治会の事例情報を知りたい。<br>・電子回覧をしたいが、高齢者が多く(75 歳以上 35%)、アナロ<br>グの補助としての使い方があるように思っています。<br>・福祉の観点からだけでなくすべての世帯で情報を共有できる<br>物があったら暮らしやすい。など | 23  |
| 3. コロナ禍による影響に関する意見  | ・新型コロナウィルスへの危機感は自治会でも温度差がある。<br>・コロナ禍のために、他の自治会との交流がこの 2 年間皆無。<br>・昨年度と今年度は自治会費を収集しなかった。<br>・自治会活動は対面での活動が基本。コロナ対策とは逆行する。<br>・総会は文面総会で済ましている。総会が開けるようになってほ<br>しい。<br>・早く交流会(お茶など)始めたく思います。など                                           | 14  |

| 意見項目                  | 具体の意見                                                                                                                                                                                                                                                                          | 意見数 |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 4. 自治会員の高齢化に関する意見     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員の高齢化が進み、今後の運営に不安</li> <li>・独居の高齢者が増加して、安全確認が必要になってきている。</li> <li>・空き家が増え老人ばかりで何も出来なくなっている。</li> <li>・超高齢社会に向けて、負担の少ない持続可能な自治会活動を考える必要がある。など</li> </ul>                                                                               | 10  |
| 5. 自治会の加入・脱退に関する意見    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会に入るメリットが分かりにくい。</li> <li>・自治会の必要性を住民の皆さんにどのようにして認識してもらえるようにするのか苦労している。</li> <li>・自治会活動への不参加の増。自治会退会者が多い。</li> <li>・組織率の高い地域の自治会活動の内容などを学ぶ機会が欲しい。など</li> </ul>                                                                       | 10  |
| 6. 災害支援に関する意見         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害弱者にポータブル端末を世帯に1台配布して欲しい。</li> <li>・災害発生時に住民台帳の内容を自治会幹部に開示するのは可能か。</li> <li>・非常時における自主防災組織としての活動が大切。など</li> </ul>                                                                                                                     | 6   |
| 7. ラコルタの講座(SNS)に関する意見 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も LINE を活用した講習会などを開催してください。</li> <li>・平日だったので仕事をしていると参加できない。仕事をしている自治会員にも参加できるような日時の設定も考えてほしい。</li> <li>・入門講座はとても役に立ちます。まずは自治会の LINE 公式アカウントを開設したい。など</li> </ul>                                                                     | 6   |
| 8. 吹田市の ICT に関する意見    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹田市の LINE 公式アカウントは情報が早く大変役に立っている。</li> <li>・ZOOM 会議をするのに必要な通信費や端末費を補助していただける制度を作ってもらいたい。</li> <li>・吹田市のホームページ上に、各自治会のページを作ったいただき、連絡事項を書き込めることから始めるとスタートしやすい。など</li> </ul>                                                              | 5   |
| 9. 地域の生活環境に関する意見      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭用ごみ袋の再配布を考えてほしい。</li> <li>・市が公園のごみ、たばこの吸い殻をどのように把握しているのか疑問があります。</li> <li>・学童の通学路、特に横断歩道付近の状況把握及び安全対策が必要かと思っております。など</li> </ul>                                                                                                      | 4   |
| 10. その他               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン接種が迅速に実施されるように望みます。</li> <li>・個人情報保護の観点から、問題のあった LINE の利用はやめてほしい。</li> <li>・今の自治会は不要であると同時にそれを長年にわたって利用してきた市の責任は重い。</li> <li>・コロナで集まりの中を避けて生活しているのに、連合はどんな場合でも呼ばれるのがすごく嫌。</li> <li>・単独自治会では難しいので連合での行事の充実、資金の援助を願いたい。など</li> </ul> | 13  |



## **V. アンケート調査からみたニーズ**

**～コロナ禍で地域のつながりを絶やさないために～**

ここでは、アンケートの集計結果を踏まえ、コロナ禍で地域のつながりを絶やさないために必要なニーズを整理しています。

## ◆コロナ禍での自治会活動に関するニーズ

### 1. 活動場所と交流の機会の創出

新型コロナウイルスの感染拡大について「影響があり、現在も続いている」と回答した自治会が9割近くを占めています。また、影響のあった項目として、催しや総会、会議等の対面的な活動があげられます。

自治会活動は、地域における住民同士の交流や共助において欠かすことのできないものです。コロナ禍で活動をストップさせないためには、ソーシャルディスタンスを取りながら、活動できる場所と機会をどう作っていくかの検討が必要です。そのための選択肢の一つとして、対面を伴わないオンライン会議システム等を活用する方法が考えられます。

### 2. コロナ禍における自治会活動

自治会活動を継続するにあたり「会合を行う際は3密を避け、マスク着用、消毒等の感染予防対策を施した」「役員の会議や活動日時の中止・変更をした」といった回答割合が高くなっています。また、新型コロナウイルスの感染拡大に対する市への要望では「感染症対策に関する情報提供や助言」の要望が多くあがっています。

コロナ禍で活動を進めていくには情報提供が重要になるとともに、自治会活動を維持していくため、感染対策やICTの活用等、コロナ禍に対応した工夫が求められます。

### 3. 自治会加入率の停滞・低下とその対応

近年全国的に、自治会の加入率は低下しています。

本調査において、コロナ禍における自治会加入等への影響について尋ねたところ「あまり変わらない」と回答した自治会が7割弱を占める一方で、「退会者が増えている」「新規加入者が減っている」と回答した自治会が2割近くありました。その原因として「自治会加入のメリットを感じない人が増えている」と回答した自治会が7割を超えています。コロナ禍において、地域の共助を担う自治会のメリットをどう打ち出していくかが課題となっています。



## ◆自治会活動における ICT 活用のニーズ

### 1. 高齢者や障がい者等、ICT を利用することが難しい方への配慮

約 8 割の団体が ICT を活用していないことが本アンケートで分かりました。活用していない理由として「高齢者や障がい者等、ICT を利用することが難しい方がおられる」という回答割合が高くなっており、高齢化の進む地域ほど、その活用が難しくなっています。

高齢者向けのスマホ活用講座等、情報格差が生まれない取り組みを増やす一方で、従来のアナログな活動や情報発信によって、ICT の活用が難しい方に対する配慮も必要です。

### 2. ICT 導入における人材の確保・育成

ICT を活用しない理由として「ICT によるシステムを継続的に維持管理できる人材が確保できない」という回答の割合も高くなっています。

SNS 等を閲覧することはできるが、情報発信や管理には不慣れという方もいます。そのため ICT 活用に関する情報提供や相談体制の充実、研修会の開催や、マニュアルづくり等、人材育成における支援が課題となっています。

### 3. 個人情報やプライバシーの権利保護

ICT を活用する際の配慮事項として「個人情報やプライバシーの権利を保護すること」の回答の割合が高くなっています。

安心して ICT を活用するために、個人情報の管理やプライバシー等の権利保護が必要となります。住民への啓発が求められるとともに、情報セキュリティに関する研修の場が必要と考えられます。

### 4. 人と人とのふれあいにも配慮した ICT の活用

ICT の活用に際し「人と人とのふれあいが失われないよう配慮すること」という意見が多くみられます。

コロナ禍で対面的な活動が制限される中、ICT の活用が社会全体で進められています。その一方で、直接顔を合わせることで人々とのふれあいが自治会活動で求められていることがうかがえます。

感染対策を図りながら、自治会員の希望に合わせてオンラインと対面を上手く使い分けた会議や交流等を検討していくことが求められます。



## ○参考資料

自治会活動におけるコロナ禍の影響と

ICT(情報通信技術)の活用実態調査 回答用紙

# 『自治会活動におけるコロナ禍の影響と ICT(情報通信技術)の活用実態調査』のご協力をお願い

自治会の皆様におかれましては、昨年度から引続く新型コロナウイルスの感染拡大により、対面の活動が制限される中、予定していた催しや活動が中止されるなど、少なからず影響を受けておられるものと存じます。

本アンケートは、今回の新型コロナウイルスの感染拡大による自治会活動への影響を把握し、今後の自治会活動の支援に役立てていくために実施するものです。

また、対面的な活動が制限される中、インターネットや SNS など対面を伴わないコミュニケーション手段である ICT(情報通信技術)の重要性が高まっていることから自治会活動における ICT(情報通信技術)の活用実態について併せてお尋ねさせていただきます。

どうか、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力下さいますよう、宜しくお願いいたします。

令和3年8月  
吹田市立市民公益活動センター  
(指定管理者 NPO 法人市民ネットすいた)

## ●調査の扱い

- ・本調査は、令和3年7月末現在、吹田市市民自治推進室に届出を頂いている自治会の皆様にお送りしております。
- ・集計は全て統計的に行いますので、どの自治会のお答えか特定されることはありません。また、この調査は、上記の目的以外に使用することはありません。
- ・調査の集計結果についてはホームページ等で公開する予定です。

※個別の自治会名は非公開

## ●調査票の配布・回収・お問い合わせ

- ・お手数ですが、同封している回答用紙にご記入の上、返信用封筒（切手はいりません）に入れ、**9月12日(日)**までに郵便ポストにご投函ください。

### <連絡先>

吹田市立市民公益活動センター | ラコルタ（愛称）

〒565-0862 大阪府吹田市津雲台 1-2-1  
千里ニュータウンプラザ 6 階  
TEL: 06-6155-3167 FAX: 06-6833-9851  
MAIL: [info@suita-koueki.org](mailto:info@suita-koueki.org)  
担当者：伊富貴（いぶき）



※ラコルタのイメージ  
キャラクター

※専用サイトからも、直接 WEB 入力することができます。

詳しくは左記のQRコードにて参照下さい。

<https://forms.gle/5Yf2U5LckPwBBJbK8>

※回答に当たり、アンケート票の元データ（Word）が必要な方は、ラコルタまで問合せ頂きましたら、メールでお送りいたします。



# 自治会活動におけるコロナ禍の影響と ICT(情報通信技術)の活用実態調査 回答用紙

## ■自治会の概要

- 自治会名 ※正式名称をご記入ください。

|  |
|--|
|  |
|--|

- アンケート回答者と連絡先

|              |      |
|--------------|------|
| ◇アンケート回答者氏名： | ◇役職： |
| ◇連絡先         |      |
| 電話：          | FAX： |
| メール：         |      |

- 貴自治会で、通常（例年）実施されている主な活動について。

**当てはまる番号を全て** 選び○で囲んでください。

|                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 防犯パトロール        | 2. 防災の取組（防災訓練など）  |
| 3. 地域の清掃          | 4. 再生資源集団回収活動     |
| 5. 募金活動           | 6. 子供会の活動         |
| 7. 高齢者の見守り・サロン    | 8. 夏祭りや盆踊り        |
| 9. 市民体育祭への参加・協力   | 10. 地域の文化祭への参加・協力 |
| 11. 地区敬老行事への参加・協力 | 12. 行政文書等の回覧・掲示   |
| 13. その他（          | ）                 |

## ■自治会活動におけるコロナ禍の影響について

### <活動や運営の影響>

問１－１．新型コロナウイルスの感染拡大による貴自治会の活動や運営への影響について

**最もあてはまる番号を１つ**選び○で囲んでください。

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 影響があったが今はない       | 2. 影響があり、現在も続いている   |
| 3. 今はないが、今後、影響が出ると思う | 4. 影響は全くなく、今後もないと思う |
| 5. その他（ ）            |                     |

問１－２．問１－１の選択肢で「**1. 影響があったが今はない**」又は「**2. 影響があり、現在も続いている**」に○を付けた方にお尋ねします。活動や運営に影響が出たと思われる事柄について**当てはまる番号を全て**選び○で囲んでください。

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 会議を中止・延期した         | 2. 夏祭りや体育祭等の催しを中止・延期した  |
| 3. 総会を中止・延期した         | 4. 広報誌や会報誌発行を中止・延期した    |
| 5. 会議場所の確保に苦労した       | 6. 元々、予定していない支出が増えた     |
| 7. 公共施設でコピー等ができなかった   | 8. 文書の回覧など対面の接触に支障がでた   |
| 9. 衛生用品（マスク、消毒液）が不足した | 10. 自治会の活動に参加する人が減った    |
| 11. 地域の清掃やパトロールを中止した  | 12. コロナ対策の情報を収集するのに苦労した |
| 13. その他（ ）            |                         |

### <コロナ禍での対応について>

問２．新型コロナウイルスの感染拡大で取られた対応がありましたら、**当てはまる番号を全て**選び、○で囲んで下さい。

- |                                       |                        |
|---------------------------------------|------------------------|
| 1. 自治会の活動内容や事業計画を見直した                 | 2. 公共施設以外で会議室や印刷機を利用した |
| 3. コロナ対策のため補助金や支援金の申請、寄附集めを実施した       |                        |
| 4. 役員の会議や活動日時の中止・変更をした                | 5. 自治会会員への連絡や状況把握を行った  |
| 6. 会合を行う際は3密を避け、マスク着用、消毒などの感染予防対策を施した |                        |
| 7. 自治会費や補助金等を活用して感染対策のための資材を購入した      |                        |
| 8. その他（ ）                             |                        |

### <コロナ禍での自治会の加入等への影響について>

問3-1. 新型コロナウイルスの広がった1年半の間で、新規の自治会加入者や退会者の状況についてどのように感じておられますか？

**最もあてはまる番号を1つ**選び○で囲んでください。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 新規加入者が増えている | 2. 新規加入者が減っている |
| 3. 退会者が増えている   | 4. 退会者が減っている   |
| 5. あまり変わらない    | 6. わからない       |
| 7. その他（        |                |

問3-2. 問3-1で「**2.新規加入者が減っている**」に○を付けた方と「**3.退会者が増えている**」に○を付けた方にお尋ねします。コロナ禍での原因をどう感じていますか？  
**最もあてはまる番号を3つまで**選び○で囲んでください。

- |                                             |
|---------------------------------------------|
| 1. 夏祭りや体育祭などのイベントが開催できなかったから                |
| 2. 総会を開催できなかった。もしくは書面総会になったから               |
| 3. 回覧板や自治会費の徴収など対面の接触を嫌がる人が増えている            |
| 4. 会員対象の行事等が実施されないのに自治会費を払うことに疑問を感じる人が増えている |
| 5. コロナ禍で生活に余裕がなくなっている人が増えている                |
| 6. 住民に高齢者が多く、コロナ禍での活動に不安を感じている              |
| 7. 自治会加入のメリットを感じない人が増えている                   |
| 8. その他（                                     |

### <市への要望>

問4. 新型コロナウイルスの感染拡大に関連し、行政やラコルタに対して、どのような要望をお持ちですか？

**最もあてはまる番号を3つまで** 選び○で囲んで下さい。

1. 感染症対策に関する情報提供や助言
2. 自治会行事や総会などの開催要件に関する情報の提供
3. 公共施設利用の緩和（貸部屋の定員緩和、公園・道路許可の緩和）
4. 活動の方向性や事業計画に関する相談
5. 会議や活動でのオンラインやSNS活用に向けた相談
6. 補助金や支援金などの活動資金援助
7. 他の自治会との情報交換やネットワークづくりへの援助

※具体的な要望があれば、以下にお書きください。

|  |
|--|
|  |
|--|



## ■自治会活動における ICT（情報通信技術）活用実態について

## <ICT（情報通信技術）の活用状況>

問5. 貴自治会の活動において、ICTはどのくらい活用されていますか？

最もあてはまる番号を1つ選び○で囲んでください。

1. よく活用している } → 問 6-1、問 6-2 へ
2. ある程度活用している }
3. あまり活用していない } → 問 7-1 問 7-2 へ
4. まったく活用していない }
5. よくわからない }

### ※ICT（情報通信技術）とは

インターネット等の通信回線を利用した、対面でない情報伝達・コミュニケーションの技術です。（電子メールやホームページ、LINE や Facebook などの SNS、ZOOM などのオンライン会議用のツールなど）

### <ICT（情報通信技術）を活用されている自治会の状況>

問5の選択肢で「1. よく活用している」又は「2. ある程度活用している」に○を付けた方にお尋ねします。

問6-1. ICT を利用している事柄について **当てはまる番号を全て** 選び○で囲んでください

1. 会議開催や行事案内（出欠確認、中止連絡なども含む）について、電子メール（メーリングリストなど）を利用して通知している
2. 会議開催や行事案内（出欠確認、中止連絡なども含む）について、LINE などの SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用して通知している
3. SNS を使った電子回覧板を活用している
4. 自治会費の集金などに PayPay などの電子決済を活用している
5. 自治会のホームページやブログ、SNS を作成し、自治会活動の情報を発信している
6. 会議や催しに遠隔で対話できる Zoom などの Web 会議システムを活用している
7. その他（ ）



問7-2. 今後、自治会活動でのICTの活用に関して、あなたのお考えに近い最もあてはまる番号を1つ選び○で囲んでください。

1. 活用しない方が良い
2. どちらかと言えば、活用しない方が良い
3. どちらかと言えば、活用した方が良い
4. 活用した方が良い
5. よくわからない

**<ICT（情報通信技術）を活用したい内容>**

問8. パソコンやインターネット等の活用について、今後、活用したいと思うことはありますか？  
最もあてはまる番号を3つまで選び○で囲んでください。

1. 広報のちらしを上手く作りたい
2. SNS を利用して情報発信や電子回覧板などに活用したい
3. ホームページやブログを作成・活用したい
4. Zoom などの Web 会議システムを活用したい
5. 会計などの事務作業に役立てたい
6. 情報を運営メンバーで共有できるようにしたい
7. 自治会費の集金などに電子決済を活用したい
8. その他（ ）

## ■自由意見

その他、ご意見やご提案などがありましたら、自由に記入ください。

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

**9月12日(日)まで**に、同封の返信用封筒（切手はいりません）に入れ、郵便ポストに投函下さい。

<調査主体及び連絡先>

吹田市立市民公益活動センター | ラコルタ（愛称）

〒565-0862 大阪府吹田市津雲台 1-2-1

千里ニュータウンプラザ 6 階

TEL : 06-6155-3167 FAX: 06-6833-9851

MAIL: [info@suita-koueki.org](mailto:info@suita-koueki.org)

担当者：伊富貴（いぶき）

